

「空港管理者によるアルコール検査実施要領」（令和２年３月１２日（国空航第３２８０号））
一部改正（案） 新旧対照表

改 正 後	改 正 前
令和２年３月１２日制定（国空航第３２８０号） 令和４年３月２９日一部改正（国空航第３０３７号） <u>令和７年５月２３日一部改正（国空安政第３７６号）</u> 航空局安全部安全政策課長 空港管理者によるアルコール検査実施要領 １．～１１． （略） 附則（令和２年３月１２日 国空航第３２８０号） １．この要領は、令和２年４月１３日より適用する。 附則（令和４年３月２９日 国空航第３０３７号） １．この要領は、令和４年４月１日から適用する。 <u>附 則（令和７年５月２３日 国空安政第３７６号）</u> <u>１．この要領は、令和７年６月１日から適用する。</u> 別紙１～４ （略）	令和２年３月１２日制定（国空航第３２８０号） 令和４年３月２９日一部改正（国空航第３０３７号） 航空局安全部安全政策課長 空港管理者によるアルコール検査実施要領 １．～１１． （略） 附則（令和２年３月１２日 国空航第３２８０号） １．この要領は、令和２年４月１３日より適用する。 附則（令和４年３月２９日 国空航第３０３７号） １．この要領は、令和４年４月１日から適用する。 別紙１～４ （略）

「空港管理者によるアルコール検査実施要領」（令和 2 年 3 月 12 日（国空航第 3280 号））
一部改正（案） 新旧対照表

改 正 後	改 正 前
別紙 5 別紙 5 令和 年 月 日  国土交通省航空局 空港事務所長 殿 警告文書 Warning 検査の結果、航空法（昭和 27 年法律第 231 号）第 70 条の規定に基づく「航空機乗組員の飲酒による運航への影響について（航空法第 70 条関係）」（平成 31 年 1 月 31 日付、国空航第 2278 号）に規定されている基準値（呼気中アルコール濃度：0.09 mg/l）を超えるアルコールが検知されており、航空法第 70 条の規定に抵触している可能性が高い状態です。このまま乗務を続けると、安全運航に影響を及ぼすおそれがあり、当空港では、酒気帯び状態での空港の使用を認めておりませんので、乗務を行わないよう警告します。 なお、本警告を無視して運航した場合、航空法第 70 条違反として 3 年以下の拘禁刑又は 50 万円以下の罰金に処せられる可能性があり、また、航空法第 30 条の規定に基づく行政処分により技能証明の取り消し又は航空業務の停止命令の対象となる可能性があります。 This document warns you not to continue to perform flight duties, because the detected level of alcohol in your body exceeds the limit (alcohol in the exhaled breath: 0.09 mg/l) which is defined in "The effect of the flight crew drinking alcohol on aircraft operation (regarding Article 70 of Civil Aeronautics Act)" Koku-Ku-Ko No. 2278 dated 31 JAN 2019 associated with the Article 70 of Civil Aeronautics Act, and this exceedance may affect the safety of flight. If you continue to perform a flight duty without acceptance of this warning, you may get a maximum of 3 years imprisonment or be fined a maximum of 500 thousand yen as a violation of Article 70 of Civil Aeronautics Act. In addition, there is a possibility that your license will be cancelled or you will be ordered not to take any flight duties as administrative punishment based on Article 30 of Civil Aeronautics Act or equivalent act in ICAO member states other than Japan. 使用言語は日本語を正とする。 The Official Language is Japanese. 別紙 6 （略）	別紙 5 別紙 5 令和 年 月 日  国土交通省航空局 空港事務所長 殿 警告文書 Warning 検査の結果、航空法（昭和 27 年法律第 231 号）第 70 条の規定に基づく「航空機乗組員の飲酒による運航への影響について（航空法第 70 条関係）」（平成 31 年 1 月 31 日付、国空航第 2278 号）に規定されている基準値（呼気中アルコール濃度：0.09 mg/l）を超えるアルコールが検知されており、航空法第 70 条の規定に抵触している可能性が高い状態です。このまま乗務を続けると、安全運航に影響を及ぼすおそれがあり、当空港では、酒気帯び状態での空港の使用を認めておりませんので、乗務を行わないよう警告します。 なお、本警告を無視して運航した場合、航空法第 70 条違反として 3 年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金に処せられる可能性があり、また、航空法第 30 条の規定に基づく行政処分により技能証明の取り消し又は航空業務の停止命令の対象となる可能性があります。 This document warns you not to continue to perform flight duties, because the detected level of alcohol in your body exceeds the limit (alcohol in the exhaled breath: 0.09 mg/l) which is defined in "The effect of the flight crew drinking alcohol on aircraft operation (regarding Article 70 of Civil Aeronautics Act)" Koku-Ku-Ko No. 2278 dated 31 JAN 2019 associated with the Article 70 of Civil Aeronautics Act, and this exceedance may affect the safety of flight. If you continue to perform a flight duty without acceptance of this warning, you may get a maximum of 3 years penal servitude or be fined a maximum of 500 thousand yen as a violation of Article 70 of Civil Aeronautics Act. In addition, there is a possibility that your license will be cancelled or you will be ordered not to take any flight duties as administrative punishment based on Article 30 of Civil Aeronautics Act or equivalent act in ICAO member states other than Japan. 使用言語は日本語を正とする。 The Official Language is Japanese. 別紙 6 （略）